

溺れそうになったら…浮いて待て！【UITEMATE】

水難事故で命を落とす人の多くは『衣服を身につけたまま』がほとんどです。着衣状態では衣服が重くなり、くっついてしまうため思うように動けません。『浮いて待て』はいざという時、呼吸を確保しながら救助されるまで浮き続ける命を守る事の出来る1つの方法です。



☆ポイント☆

- ・手足を大の字に広げる
- ・あごを上げて上を見る
- ・手は水面より下、水の中に

浮力のあるもの（ペットボトルなど）があれば胸に抱えて浮きます。助けが来るまでなんとか浮き続ける。声を出したり、手を振ったりすると体は沈みます。無理に泳ごうとしないで！

溺れている人を見つけたら・・・



- ・大声で周りに助けを求める
- ・119番通報をする（海の事故は「118」番通報）
- ・浮力体を投げる（ペットボトルやランドセルなど水に浮くものならなんでも）

溺れている人を見つけても飛び込まないで！！

*泳ぎの達者な人でも人を抱えながら泳ぐことは容易ではありません。最悪の場合、助けに行った人まで溺れてしまいます。悲しい事故が起こらないためにも、水難事故防止を徹底していただけたらと思います。